

# 令和5年度教員採用選考の概要

義務教育課  
 高校教育課  
 特別支援教育課

## 1 求める教師像

(1) 長野県の教員の使命・任務 子どもの命と安全を守り、夢や可能性を育む  
 専門性を磨き、人間力を高めるために学び続ける

(2) こんな人を求めています

- ① 教育者としての使命感と責任感を持ち、社会人として規律を遵守する人
- ② 教育への情熱を持ち、真摯に子どもを理解しようとする人
- ③ 豊かな人間性と広い視野、確かな人権意識を持ち、子どもや保護者の思いに共感できる人
- ④ 同僚や保護者、地域の方々と協力し、共に汗を流し行動する人
- ⑤ 創造性と積極性があり、常に向上し続けようとする、心身のたくましさを持っている人
- ⑥ 幅広い教養と教科等の専門的な知識・技能を持ち、柔軟に対応することができる人
- ⑦ 探究的な学びや、校内外での様々な活動に対して、積極的に取り組むことのできる人

## 2 選考の日程及び会場

令和4年4月15日(金)	募集要項配布開始
4月15日(金)	志願受付開始
5月10日(火)	志願受付締切り
7月2日(土)・3日(日)	一次選考(小学校、中学校、特別支援学校) ・会場…長野市立柳町中学校、長野市立東部中学校、 長野市立櫻ヶ岡中学校、長野市立裾花中学校
7月2日(土)	一次選考(高等学校) ・会場…長野県長野商業高等学校
7月下旬	一次選考結果発表
8月8日(月)・9日(火)・10日(水) ・11日(木)・12日(金)	二次選考(小学校、中学校、特別支援学校) ・会場…信州大学教育学部附属長野小学校、 信州大学教育学部附属長野中学校
8月8日(月)・9日(火)・10日(水) ・11日(木)・12日(金)	二次選考(高等学校) ・会場…長野県長野高等学校
9月下旬	採用予定者発表

## 3 採用予定の教員の種別、教科及び人数

(1) 小学校・中学校教員選考

学校種	教員の種別	教科	各ブロックの採用人数		全県合計人数
小学校 中学校 義務教育学校	★小学校教諭		東信	42名程度	225名程度
			南信	75名程度	
			中信	45名程度	
			北信	63名程度	
	★中学校教諭	国語 社会 数学 理科 音楽 美術 保健体育 技術 家庭 英語	東信	23名程度	135名程度
			南信	38名程度	
			中信	33名程度	
			北信	41名程度	
	★養護教諭		東信	5名程度	20名程度
			南信	5名程度	
			中信	5名程度	
			北信	5名程度	
	栄養教諭				若干名

★は、「ブロックの採用数を設定した採用」を行う。（「長野県の小学校・中学校・養護教諭（高校を除く）を目指す皆さんへ」を参照）

(2) 特別支援学校教員選考

学校種	教員の種別	教科	採用人数
特別支援学校	特別支援学校教諭		55名程度

(3) 高等学校教員選考

学校種	教員の種別	教科	採用人数
高等学校	高等学校教諭	国語 地理歴史 公民 数学 理科 保健体育 芸術（音楽・美術・書道） 外国語（英語） 農業 工業 商業 家庭 情報	90名程度
	養護教諭		若干名

(4) 身体に障がいのある人を対象とした教員選考

学校種	教員の種別	教科	採用人数
小学校 中学校 義務教育学校 特別支援学校 高等学校	小・中学校教諭 特別支援学校教諭 養護教諭・栄養教諭 高等学校教諭	(1) (2) (3) に準ずる	10名程度

(5) スポーツの技能や実績のある人を対象とした教員選考

学校種	教員の種別	教科	採用人数
小学校 中学校 義務教育学校 特別支援学校 高等学校	小・中学校教諭 特別支援学校教諭 養護教諭・栄養教諭 高等学校教諭	(1) (2) (3) に準ずる	若干名

※注

- ① (1) 小学校・中学校教員選考 (2) 特別支援学校教員選考 (3) 高等学校教員選考 (4) 身体に障がいのある人を対象とした教員選考 (5) スポーツの技能や実績のある人を対象とした教員選考のいずれかを選択して受験することとなります。
- ② 小学校・中学校教員選考の「ブロックの採用数を設定した採用」受験者は、申し込み時に「東信」「南信」「中信」「北信」の4つのブロックのいずれかを選択します。
- ③ 採用人数は、現時点の目安であり、変更することがあります。
- ④ 高等学校教諭の「教科」項目中の（ ）内は、主たる専攻区分を示しています。

4 申込資格

- (1) 昭和38年4月2日以降に生まれた者。（(7)は除く。）
- (2) 希望する教科若しくは職の普通免許状を有する者または令和5年3月31日までに取得見込の者。なお、養護教諭希望者で、令和5年の春までに行われる国家試験によって保健師免許状を取得後、令和5年3月31日までに養護助教諭免許状（臨時免許状）取得予定の者も含まれます。
- (3) 特別支援学校教諭については、基礎免許状として小学校または中学校教諭免許状を有する者で、特別支援学校教諭免許状を有する者（平成19年3月31日以前に盲学校教諭免許状、聾学校教諭免許状、養護学校教諭免許状を有した者を含む。）または令和5年3月31日までに取得見込の者。
- (4) 小学校・中学校・特別支援学校教員選考を受験する者は、複数校種（小・中・特別支援学校）・複数教科等の免許状を有することが望ましいです。
- (5) 高等学校の「地理歴史」は公民の免許状を、「公民」は地理歴史の免許状を、「書道」は国語の免許状を、「情報」は他の免許状を有することが望ましいです。
- (6) 身体に障がいのある人を対象とした教員選考を受験する者は、身体障害者手帳（1級から6級）

の交付を受けている者が申込資格です。大学推薦選考では、在学する大学の推薦を受けた者で、令和5年3月に卒業見込又は大学院修了見込の者とします。推薦の対象となる教員の種別は、小学校教諭、中学校教諭（全教科）、特別支援学校教諭、小・中学校養護教諭、栄養教諭です。詳細は別途定める「身体に障がいのある人を対象とした大学推薦選考実施要項」によります。長野県教育委員会ホームページに掲載します。

※ 受験にあたっては、障がいの種類や程度に応じて、文字・用紙の拡大、手話通訳によるコミュニケーション、試験時間の延長、試験会場・座席の配慮、実技試験の一部免除等、支障なく受験できるように努めます。

(7) スポーツの技能や実績のある人を対象とした教員選考を受験する者は、以下が申込資格です。

○昭和48年4月2日以降に生まれた者

○「競技者」は、次の①又は②のいずれかの申込資格を満たす者（平成28年度4月1日以降の実績に限る。）

①国際規模の競技会（オリンピック・パラリンピック競技大会、世界選手権大会、アジア競技大会、ユニバーシアード 競技大会等）に日本代表選手として出場した競技者（団体競技については試合に出場した者）。

②全国規模の競技会（国民体育大会、全日本選手権、全日本学生選手権等）において、8位以上の成績を収めた競技者（団体競技については試合に出場した者）。

○「指導者」は、次の③又は④のいずれかの申込資格を満たす者

③国際規模の競技会（上記①に同じ）に日本代表選手として出場した競技者、又は全国規模の競技会（上記②に同じ）で8位以上の成績を収めた競技者（団体競技については試合に出場した者）を、その大会の出場に際して直接指導した者。

④国際規模の競技会（上記①に同じ）、又は全国規模の競技会（上記②に同じ）に選手（団体競技については試合に出場した者）としての出場実績があり、指導者を希望する者。

○詳細は別途定める「スポーツの技能や実績のある人を対象とした教員選考実施要項」によります。長野県教育委員会ホームページに掲載します。

(8) 地方公務員法第16条及び学校教育法第9条の欠格条項に該当しないこととします。

5 選考区分 ※「一般選考」「社会人を対象とした選考」の双方を受験することはできない。また「特別選考」を複数受験することはできない。

(1) 一般選考

受験者の条件	なし
--------	----

(2) 社会人を対象とした選考

① 教職（常勤・非常勤講師を含む）経験者を対象とした選考

受験者の条件	学校、幼稚園で次の経験が令和5年3月31日現在で3年以上ある者（講師・養護助教諭は、常勤・非常勤を問わない。） 教諭受験者は、教諭または講師の経験。養護教諭受験者は、養護教諭または養護助教諭の経験。栄養教諭受験者は、栄養教諭の経験。
--------	---

② 民間企業等経験者を対象とした選考

受験者の条件	民間企業、教職以外の公務員、NPO等の経験が、令和5年3月31日現在で3年以上ある者または青年海外協力隊などの国際貢献活動の経験が、令和5年3月31日現在で2年以上ある者。
--------	--

(3) 特別選考（採用人数は何れの選考においても、3(1)(2)(3)(4)(5)の採用人数の内数）

① 補欠合格者を対象とした選考

採用する教員の種別	小・中・特別支援学校教諭・養護教諭・栄養教諭 高等学校教諭・養護教諭
受験者の条件	前年度、本県の教員採用選考で補欠合格となった者で、前年度と同一の校種・教科を志願する者。
選考方法	上記「一般選考」または「社会人を対象とした選考」のどちらかを選択。

## ② 大学推薦選考

採用する教員の種別	小・中・特別支援学校教諭
受験者の条件	<p>小学校・中学校の教諭志願者は、小学校及び中学校教諭免許状をいずれも有している者（取得見込を含む）。</p> <p>特別支援学校の教諭志願者は、小学校、中学校、特別支援学校教諭免許状（免許状の領域は問わない）をいずれも有している者（取得見込を含む）。</p> <p>1種免許状、専修免許状、中学校免許状は複数免許状取得が望ましい</p> <p>長野県教育委員会が依頼した大学の推薦を受けた者で、令和5年3月に卒業見込または大学院、教職大学院修了見込の者。</p> <p>詳細は別途定める「大学推薦選考実施要項」による。長野県教育委員会ホームページに掲載する。</p>

## ③ 発達障がい児童生徒特別支援のための選考

採用する教員の種別	小・中学校教諭
受験者の条件	<p>LD（学習障がい）、ADHD（注意欠陥多動性障がい）、自閉症スペクトラム等、発達障がいに関する専門の知識<sup>※1</sup>を有する者。また、それらの資格を生かして学校やNPOなどで当該児童生徒の教育や療育等に携わった経験<sup>※2</sup>が令和3年度または令和4年度にあり、かつ、令和5年3月31日現在で通算3年以上ある者。</p> <p>※1 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士、学校心理士、臨床発達心理士、特別支援教育士の有資格者、または特別支援学校教諭普通免許状（平成19年3月31日以前に盲学校教諭免許状、聾学校教諭免許状、養護学校教諭免許状を有した者を含む。）所有者。</p> <p>※2 小・中学校の特別支援学級、通級指導教室担当の教諭、講師（教員免許状を必要としない特別支援教育支援員等は含まない）、発達障がいの療育・相談機関等における療育、相談担当の経験。</p> <p>専門の知識に係る資格または特別支援学校教諭普通免許状の写し及び所属長等の推薦書を添付すること。</p>

## ④ 博士号取得者を対象とした選考

採用する教員の種別	中学校教諭（数学、理科）
受験者の条件	<p>数学分野または理科分野における博士の学位を有し、教員の職務を行うのに必要な熱意と見識をもち、理数好きの生徒を育てる意欲のある者。</p> <p>所属長等の推薦書を添付すること。</p>
選考方法	上記「一般選考」または「社会人を対象とした選考」のどちらかを選択。

## ⑤ 正規教員経験者を対象とした選考

採用する教員の種別	小・中・特別支援学校教諭・養護教諭・栄養教諭 高等学校教諭・養護教諭
受験者の条件	<p>○国公立学校の正規教員として令和5年3月31日現在で通算3年以上の勤務経験のある者。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中・特別支援学校の教諭志願者は、令和3年度または令和4年度に国公立小・中・特別支援学校で教諭または常勤・非常勤講師の経験を有すること。</li> <li>・小・中学校の養護教諭志願者は、令和3年度または令和4年度に国公立小・中・特別支援学校で養護教諭または養護助教諭の経験を有すること。</li> <li>・小・中学校の栄養教諭志願者は、令和3年度または令和4年度に国公立小・中・特別支援学校または共同調理場で栄養教諭または栄養士の業務の経験（勤務形態は問わない）を有すること。</li> <li>・高等学校の教諭志願者は、令和3年度または令和4年度に国公立高等学校で教諭または常勤・非常勤講師の経験を有すること。</li> <li>・高等学校の養護教諭志願者は、令和3年度または令和4年度に国公立高等学校で養護教諭または養護助教諭の経験を有すること。</li> </ul> <p>所属長の推薦書を添付すること。</p> <p>本年度、採用選考を実施する教科等に限る。</p>

⑥ 英語資格所有者を対象とした選考

採用する教員の種別	中学校教諭（英語） 高等学校教諭（英語）
受験者の条件	次のいずれかの級や得点を平成29年4月1日以降に取得した者。 ・ 実用英語技能検定（財 日本英語検定協会）1級 ・ TOEFL iBT 100点以上 ・ TOEIC 900点以上 級や得点分かる証明書の写しを添付すること。 二次選考面接時に、級や得点分かる証明書の原本を提示すること。
選考方法	上記「一般選考」または「社会人を対象とした選考」のどちらかを選択。

⑦ 長野県内小・中学校で学級担任経験のある講師で小学校教諭受験者を対象とした選考

採用する教員の種別	小学校教諭
受験者の条件	次のいずれにも該当する者。 ・ 県内の小・中・義務教育学校で令和2年度と令和3年度において、学級担任（特別支援学級を含む）経験がある者。 ・ 令和4年度（受験申込時）も県内の小・中・義務教育学校で学級担任を務めている者。 ・ 令和2年度から令和4年度（受験申込時）までに、小学校・義務教育学校前期課程の学級担任（特別支援学級を含む）の経験がある者。 所属長の証明書を添付すること。

6 加点制度

(1) 加点制度を利用できる受験者及び加点の方法

- ・ 小学校・中学校教員選考及び身体に障がいのある人を対象とした選考において小学校、中学校教員選考の一次選考「専門教科」受験者は、加点制度を利用できます。
- ・ 加点制度を利用する受験者は、出願時に願書（電算入力票）の「加点申請希望」に○をつけ、「加点申請書」を提出してください。
- ・ 加点対象となる教員免許状または資格の内容は、下記（2）の表によります。
- ・ 加点方法は、一次選考の「専門教科」の得点に5点または10点を加点します。

(2) 加点制度の対象および資格

加点対象となる教員免許または資格		加点対象校種と加点※ 3		提出物 (出願時)
		小学校	中学校	
①	小学校教諭と中学校教諭の両方の普通免許取得又は取得見込 ※1	5	5	・ 該当の免許状の写し、又は、取得見込証明書を提出すること。
②	中学校教諭(英語)または高等学校(英語)の普通免許取得又は取得見込 ※1	5	/	
③	複数教科の中学校教諭普通免許取得又は取得見込 ※1	5	5	
④	実用英語技能検定準1級または相当（TOEFL iBT 80点以上、TOEIC 730点以上）の資格取得者 ※2	5	/	・ 資格取得証明書の写しを提出すること。

※1 ①、②、③については、令和5年3月31日までに取得できる見込の者を含む。ただし、取得見込みで受験し、令和5年3月31日までに取得できなかった場合は、加点が無効となり採用内定を取り消す場合があります。

※2 実用英語検定 準1級以上等の資格については、平成29年4月1日以降に取得した者。

※3 出願時に、該当する①～④の中から最大2つまで選択することができる。加点は最大10点までとする。

- (例1) 小学校免許と中学校数学の免許を取得している者  
: ①が対象。①を選択し、加点5点。
- (例2) 小学校免許と中学校国語、音楽の免許を取得している者  
: ①③が対象。①③を選択し、加点10点。
- (例3) 小学校免許と中学校(英語)の免許を取得している者(小学校)  
: ①②が対象。①②を選択し、加点10点。
- (例4) 小学校免許と英検準1級を取得している者(小学校)  
: ④が対象。④を選択し、加点5点。
- (例5) 小学校免許と中学校音楽の免許を取得し、英検準1級を取得している者(小学校)  
: ①④が対象。①④を選択し、加点10点。
- (例6) 小学校免許と中学校社会、技術を取得し、英検準1級を取得している者  
: ①③④が対象。中学校は①③、小学校は①③  
又は①④又は③④を選択し加点10点。

7 試験項目 ○印の項目について、試験を課す。

(1) 小学校・中学校教員選考、特別支援学校教員選考

選考区分		一次選考					二次選考			
		筆記試験		小論文	適性検査	集団面接	書類審査	適性検査	個人面接※2	実技
		一般教養	専門教科							
(1) 一般選考		○	○	○	○	○	○	○	○※4	
(2) 社会人を対象とした選考			○	○	○	○	○	○	○※4	
(3) 特別選考	①補欠合格者を対象とした選考	一般						○	○※4	
		社会人						○	○※4	
	②大学推薦選考			○※1		○		○	○※4	
	③発達障がい児童生徒特別支援のための選考			○※1		○		○	○※3	
	④博士号取得者を対象とした選考	一般				○		○		
		社会人				○		○		
	⑤正規教員経験者を対象とした選考			○※1		○		○	○	○※4
	⑥英語資格所有者を対象とした選考	一般				○	○※1	○	○	○※4
社会人					○	○※1	○	○	○※4	
⑦長野県内小・中学校で学級担任経験のある講師で小学校教諭受験者を対象とした選考							○	○	○	○※4

※1 二次選考の際に参考とします。

※2 個人面接を1回実施します。

※3 個人面接は、発達障がい児童生徒の模擬授業を含めて実施します。

※4 小学校、特別支援学校、中学校音楽、中学校保健体育、中学校英語は実技があります。(小学校は、音楽・体育・英語実技、特別支援学校は、音楽・体育実技)

(2) 高等学校教員選考

選考区分		一次選考				二次選考			
		筆記試験		小論文	適性検査	書類審査	個人面接※2	集団面接	
		一般教養	専門教科						
(1) 一般選考		○	○	○	○	○	○	○	
(2) 社会人を対象とした選考			○	○	○	○	○	○	
(3) 特別選考	①補欠合格者を対象とした選考	一般					○		
		社会人					○		
	⑤正規教員経験者を対象とした選考			○※1		○	○	○	
	⑥英語資格所有者を対象とした選考	一般				○	○	○	○
社会人					○	○	○	○	

※1 二次選考の際に参考とします。

※2 個人面接は2回実施します。

(3) 身体に障がいのある人を対象とした教員選考(小学校・中学校教員選考、特別支援学校教員選考)

選考区分		一次選考					二次選考			
		筆記試験		小論文	適性検査	集団面接	書類審査	適性検査	個人面接※2	実技
		一般教養	専門教科							
(1) 一般選考		○	○	○	○	○	○	○	○※4	
(2) 社会人を対象とした選考			○	○	○	○	○	○	○※4	
(3) 特別選考	②大学推薦選考			○※1		○		○	○	○※4
	③発達障がい児童生徒特別支援のための選考			○※1		○		○	○※3	○※4
	④博士号取得者を対象とした選考	一般				○		○	○	
		社会人				○		○	○	
	⑤正規教員経験者を対象とした選考			○※1		○		○	○	○※4
	⑥英語資格所有者を対象とした選考	一般				○	○※1	○	○	○※4
		社会人				○	○※1	○	○	○※4
⑦長野県内小・中学校で学級担任経験のある講師で小学校教諭受験者を対象とした選考							○	○	○	○※4

※1 二次選考の際に参考とします。

※2 個人面接を1回実施します。

※3 個人面接は、発達障がい児童生徒の模擬授業を含めて実施します。

※4 小学校、特別支援学校、中学校音楽、中学校保健体育、中学校英語は実技があります。

(小学校は、音楽・体育・英語実技、特別支援学校は、音楽・体育実技)

(4) 身体に障がいのある人を対象とした教員選考（高等学校教員選考）

選考区分		一次選考				二次選考		
		筆記試験		小論文	適性検査	書類審査	個人面接※2	集団面接
		一般教養	専門教科					
(1) 一般選考		○	○	○	○	○	○	
(2) 社会人を対象とした選考			○	○	○	○	○	
(3) 特別選考	⑤正規教員経験者を対象とした選考		○※1		○	○	○	
	⑥英語資格所有者を対象とした選考	一般			○	○	○	
		社会人				○	○	○

※1 二次選考の際に参考とします。

※2 個人面接を2回実施します。

(5) スポーツの技能や実績のある人を対象とした教員選考

① 小学校・中学校教員選考、特別支援学校教員選考

選考区分		一次選考					二次選考				
		筆記試験		小論文	適性検査	集団面接	書類審査	適性検査	個人面接※2	実技	
		一般教養	専門教科								
(1) 一般選考			○※1		○	○	○		○	○※4	
(2) 社会人を対象とした選考			○※1		○	○	○		○	○※4	
(3) 特別選考	②大学推薦選考		○※1		○		○		○	○※4	
	③発達障がい児童生徒特別支援のための選考		○※1		○		○		○※3	○※4	
	④博士号取得者を対象とした選考	一般				○		○		○	
		社会人				○		○		○	
	⑤正規教員経験者を対象とした選考			○※1		○		○		○	○※4
	⑥英語資格所有者を対象とした選考	一般				○	○※1	○		○	○※4
		社会人				○	○※1	○		○	○※4
⑦長野県内小・中学校で学級担任経験のある講師で小学校教諭受験者を対象とした選考							○	○	○	○※4	

※1 二次選考の際に参考とします。

※2 個人面接を1回実施します。質問内容にスポーツ関連事項を含みます。

※3 個人面接は、発達障がい児童生徒の模擬授業を含めて実施します。

※4 小学校、特別支援学校、中学校音楽、中学校保健体育、中学校英語は実技があります。

(小学校は、音楽・体育・英語実技、特別支援学校は、音楽・体育実技)



② 高等学校教員選考

選考区分	一次選考					二次選考	
	筆記試験		小論文	適性検査	書類審査	個人面接※2	集団面接
	一般教養	専門教科					
(1) 一般選考		○※1		○	○	○	○
(2) 社会人を対象とした選考		○※1		○	○	○	○
(3) 特別選考	⑤正規教員経験者を対象とした選考		○※1	○	○	○	
	⑥英語資格所有者を対象とした選考	一般		○	○	○	○
		社会人			○	○	○

※1 二次選考の際に参考とします。保健体育は実技を免除します。

※2 個人面接を2回実施します。質問内容にスポーツ関連事項を含みます。

8 選考基準

(1) 小学校・中学校教員選考、特別支援学校教員選考、身体に障がいのある人を対象とした教員選考、スポーツの技能や実績のある人を対象とした教員選考

① 一次選考

選考内容			評価の観点、配点・段階等		総合判定
筆記試験	一般教養（一般教養、教育法規、教育課程等）		—	60点	筆記試験の結果を基に、小論文、集団面接及び書類審査の結果を加味して、総合的に判定する。
	専門教科（教科等の指導に関する内容を含む。小学校は外国語《英語》に関する内容も含む。）		—	100点	
	実技	中学校美術（鉛筆によるデッサン）	発想・構想力、技能等 （25点。100点を含む。）	（25点）	
		中学校技術（製図）	工夫し創造する力、技能等 （20点。100点を含む。）	（20点）	
	中学校家庭（布を用いた製作）	構成力、技能等 （20点。100点を含む。）	（20点）		
小論文（与えられた課題について、800字以内で論述）			題意把握の的確さ（根拠の妥当性等）、文章構成の工夫（適切な構成等）、論理的思考力（論旨の展開等）、表記（誤字・脱字、字数制限等）	5段階	5段階 (G, F1, F2, F3, F4)  G : 合格 F : 不合格
集団面接（与えられた課題について、意見や感想の発表、討論）			意欲、コミュニケーション力、社会性、人間性	5段階	
書類審査 （履修内容及び成績、免許、特技等）			選考の参考にする。		

② 二次選考

選考内容		評価の観点、配点・段階等		総合判定
個人面接 (教員採用選考申込書に記入した内容についての質問を含む。)  模擬授業等 ○与えられた課題について、目の前に児童生徒がいることを想定した模擬指導		・意欲(教育への情熱、使命感) ・人間性(広い視野、確かな人権意識) ・協調性・創造性(コミュニケーション力、協働して行動する力、柔軟な思考力、向上心) ・社会性(真摯な対応、幅広い教養)	5段階	個人面接及び実技の結果を基に、一次選考資料等を参考にしながら、総合的に判定する。  5段階 (G, H, F1, F2, F3)  G : 合格 H : 補欠合格 F : 不合格
		・専門性 (探究的な学びに向けた授業の構想・展開) (児童・生徒、保護者等への適切な対応)		
実技	体育 ・小学校・特別支援学校 器械運動、球技、ダンス ・中学校保健体育は、上記種目に体づくり運動、陸上競技、武道を加える。	運動種目の理解、技能、指導力 (小学校 10点) (特別支援学校 10点) (中学校保健体育 30点)	5段階	
	音楽 ・小学校・特別支援学校 歌唱、ピアノ伴奏 ・中学校音楽 指揮、ピアノ弾き歌い、器楽(任意の楽器)	技能、表現力 (小学校 10点) (特別支援学校 10点) (中学校音楽 30点)		
	英語 ・小学校 英語による言語使用場面の導入とQ & A ・中学校英語 英語による言語活動の導入とスピーチ	技能、指導力 (小学校 10点) (中学校英語 30点)		
適性検査・書類審査		選考の参考にする。		

(2) 高等学校教員選考、身体に障がいのある人を対象とした教員選考、スポーツの技能や実績のある人を対象とした教員選考

① 一次選考

選考内容		評価の観点、配点・段階等		総合判定	
筆記試験	一般教養(国・社・数・理・英の基礎的知識、教職及び時事教養)	—	30点	筆記試験及び実技試験の結果を基に、小論文、書類審査の結果を加味して、総合的に判定する。  5段階 (G, F1, F2, F3, F4)  G : 合格 F : 不合格	
	専門教科(大学卒業程度の各教科における専門的知識・知能)	—	120点		
	実技	保健体育(陸上競技・球技・器械運動)	実技指導に必要な十分な技能の理解・修得状況		(60点)
		音楽(弾き歌い・即興伴奏・新曲視唱)	音楽性、構成力、表現力		(60点)
		美術(鉛筆によるデッサン)	構図、描写力、表現力		(60点)
	書道(漢字仮名交じり・漢字・仮名の書の表現)	表現の技能、表現の工夫	(60点)		
小論文(与えられた課題について、600字以内で論述)		題意把握の的確さ(テーマ設定、根拠の妥当性等)、文章構成の工夫(テーマに沿った適切な構成等)、論理的思考力(論旨の展開等)、表記(誤字・脱字、字数制限等)	5段階		
適性検査・書類審査(履修内容及び成績、免許、特技等)		選考の参考にする。			

② 二次選考

選考内容	評価の観点、段階等	総合判定
<p>個人面接 ○高校生活の印象・大学卒業論文の概要など、事前に提出する「個人面接カード」の内容に関する質問</p>	<p>・意欲（教育への情熱・使命感・目的意識） ・人間性（広い視野、確かな人権意識） ・協調性・創造性（コミュニケーション力、協働して行動する力、柔軟な思考力、向上心） ・社会性（真摯な対応、幅広い教養） ・専門性（広い教養、教科の専門的知識・技術、ファシリテーターとしての能力）</p>	<p>個人面接の結果及び集団面接、適性検査の判定結果を基に、一次選考資料等を参考にしながら、総合的に判定する。 5段階 (G, H, F1, F2, F3)</p> <p>G : 合格 H : 補欠合格 F : 不合格</p>
<p>模擬授業 ○与えられた課題について、目の前に生徒がいることを想定した模擬指導（英語の志願者は英語で行う。）</p>	<p>・わかりやすさ、的確さ、教師としての姿勢 ・生徒の探究的な学びを支援する力</p>	
<p>集団面接(与えられた課題に対する意見・感想の発表や討論)</p>	<p>意欲、人間性、協調性・創造性、社会性、専門性</p>	
書類審査	選考の参考にする。	

9 大学院修士課程等在学者・進学者に対する採用猶予

- (1) 本年度の採用選考の合格者（大学推薦選考及び身体に障がいのある人を対象とした大学推薦選考での合格者を除く）で、大学院修士課程（博士前期課程及び教職大学院を含む）に在学している者または来年度進学することが決定している者については、大学院に在学している者は1年間、来年度大学院に進学する者は2年間、採用を猶予します。
- (2) 小学校、中学校、特別支援学校の採用猶予者は、大学院在学中に受験校種（教科）等の専修免許状を取得することを条件とします。
- (3) 猶予期間の内に大学院修士課程（博士課程前期及び教職大学院を含む）を修了することとします。
- (4) 別途定める方法により、令和4年11月末までに採用猶予願の提出が必要です。

10 妊娠者に対する採用猶予

- (1) 本年度の採用候補者で、採用年度に出産予定の者については、希望により1年間、採用を猶予することができます。
- (2) 猶予期間終了後の4月1日から勤務することを条件とします。
- (3) 別途定める方法により、令和4年11月末までに採用猶予願の提出が必要です。  
※採用選考申込み時に妊娠中の方、または申込み以降に妊娠が判明した方は御相談ください。

11 その他

(1) 小・中・特別支援学校における結果の通知

① 一次選考結果

- ア 合否結果並びに不合格者に係わる総合評価、集団面接及び小論文の段階別評価並びに一般教養、専門教科及び実技の得点及び平均点を郵送にて7月下旬に通知します。
- イ 通知発送日と同日に、合格者の受験番号を本県教育委員会ホームページに掲載します。
- ウ 一次選考合格者に係わる総合評価等については、二次選考結果通知にあわせて通知します。

② 二次選考結果

- ア 小学校・中学校・特別支援学校教員選考を受験した者へは、合否並びに総合評価、個人面接及び実技の段階別評価を郵送にて9月下旬に通知します。
- イ 高等学校教員選考を受験した者へは、合否及び総合評価の段階別評価を9月下旬に通知します。
- ウ 通知発送日と同日に、合格者の受験番号を長野県教育委員会ホームページに掲載します。

③ 上記の一次選考結果及び二次選考結果については、長野県個人情報保護条例第11条第1項ただし書の規定により、口頭で開示を請求することもできます。ただし、一次選考合格者は、選考試験が継続して行われるため、二次選考結果通知後に開示請求ができるものとします。

- ・開示する期間は、選考結果の通知日から1年間です。
- ・開示する場所は、長野県教育委員会事務局義務教育課または高校教育課（長野県庁8階）です。
- ・必要書類は、運転免許証、学生証等本人であることを証明できるものです。

(2) 高校における結果の通知

申込はながの電子申請システムを利用した電子申請となります。それに伴い、結果の通知は以下のように行います。

① 一次選考結果

ア 合否結果並びに不合格者に係わる総合評価、小論文の段階別評価並びに一般教養、専門教科及び実技の得点及び平均点（以下総合評価等）はながの電子申請システムを用いて通知します。7月下旬に申込時に登録したメールアドレス宛に確認が可能になった旨お知らせしますので、各自でアクセスしてください。

イ ながの電子申請システムでの確認とともに、合格者の受験番号を長野県教育委員会ホームページに掲載します。

ウ 一次選考合格者に係わる総合評価等については、二次選考結果通知にあわせて確認できます。

② 二次選考結果

ア 合否結果、二次選考の総合評価、及び一次選考の総合評価等はながの電子申請システムを用いて通知します。9月下旬に申込時に登録したメールアドレス宛に確認が可能になった旨お知らせしますので、各自でアクセスしてください。

イ ながの電子申請システムでの確認と同日に、合格者の受験番号を長野県教育委員会ホームページに掲載します。

(3) 採用選考の実施に際して収集する個人情報、この採用選考及び臨時的任用のために必要な範囲でのみ利用します。

(4) 提出された書類等は、一切返却しません。

(5) 一次選考の一般教養、専門教科の問題用紙は持ち帰りができます。

(6) 身体に障がいのある人を対象とした教員選考「大学推薦選考」、特別選考「大学推薦選考」への出願は、別途定める、身体に障がいのある人を対象とした教員選考「大学推薦選考実施要項」、「大学推薦選考実施要項」により、大学が一括して期限までに提出してください。

(7) 本年度の採用選考で補欠合格となった受験者は、次年度、特別選考「補欠合格者を対象とした選考」を受験することができます。

## 「スポーツの技能や実績のある人を対象とした教員選考実施要項」

募集する 学校種・教員 の種別	学 校 種：小学校、中学校、特別支援学校、高等学校 教員の種別：小・中学校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭・栄養教諭、高等学校教諭													
受験者の条件	<p>スポーツの分野において、競技者は次の①又は②を、指導者は次の③又は④のいずれかの実績要件を満たす者。</p> <p>※スポーツの技能や実績のある人とは、大学等の在学中又は社会人として、競技又は指導実績を収めた者に限る。世界ジュニア選手権大会、国体少年種別、インターハイ等、高校生以下を対象とした大会を除く。</p> <p>年齢制限を満 49 歳以下とする。(令和 5 年 3 月 31 日現在)</p> <p><b>【競技者】</b>(平成 28 年 4 月 1 日以降の実績に限る。)</p> <p>①国際規模の競技会(オリンピック・パラリンピック競技大会、世界選手権大会、アジア競技大会、ユニバーシアード競技大会等)に日本代表選手として出場した競技者(団体競技については試合に出場した者)。</p> <p>②全国規模の競技会(国民体育大会、全日本選手権大会、全日本学生選手権大会等)において 8 位以上の成績を収めた競技者(団体競技については試合に出場した者)。</p> <p><b>【指導者】</b></p> <p>③国際規模の競技会(上記①に同じ)に日本代表選手として出場した競技者、又は全国規模の競技会(上記②に同じ)で 8 位以上の成績を収めた競技者(団体競技については試合に出場した者)を、その大会の出場に際して直接指導した者。</p> <p>④国際規模の競技会(上記①に同じ)、又は全国規模の競技会(上記②に同じ)に選手(団体競技については試合に出場した者)としての出場実績があり、指導者を希望する者。</p>													
選考方法・選考内容等	<p>提出された書類をもとに書類審査を行う。</p> <p>※出願時に提出する「教員採用選考申込書」の「スポーツの技能や実績のある人を対象とした教員選考」欄に○をすること。</p> <p>※教員選考の(5)「スポーツの技能や実績のある人を対象とした教員選考」を受験した者が、選考基準により総合的に判定した結果、(1)「小学校・中学校教員選考」、(2)「特別支援学校教員選考」、(3)「高等学校教員選考」で合格する場合があります。</p> <p>書類審査通過者の選考内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 45%;">小学校・中学校・特別支援学校</th> <th style="width: 40%;">高等学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">一次選考</td> <td>専門教科、集団面接、適性検査を実施し、「一般教養」、「小論文」は免除する。</td> <td>専門教科(筆記)、適性検査(2種類)を実施し、「一般教養」、「小論文」、「実技(保健体育)」は免除する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">二次選考</td> <td colspan="2">選考内容は、「一般選考」、「社会人を対象とした選考」、「特別選考」の一次選考合格者と同様とする。</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">個人面接、実技</td> <td style="text-align: center;">個人面接、集団面接</td> </tr> </tbody> </table>			小学校・中学校・特別支援学校	高等学校	一次選考	専門教科、集団面接、適性検査を実施し、「一般教養」、「小論文」は免除する。	専門教科(筆記)、適性検査(2種類)を実施し、「一般教養」、「小論文」、「実技(保健体育)」は免除する。	二次選考	選考内容は、「一般選考」、「社会人を対象とした選考」、「特別選考」の一次選考合格者と同様とする。			個人面接、実技	個人面接、集団面接
	小学校・中学校・特別支援学校	高等学校												
一次選考	専門教科、集団面接、適性検査を実施し、「一般教養」、「小論文」は免除する。	専門教科(筆記)、適性検査(2種類)を実施し、「一般教養」、「小論文」、「実技(保健体育)」は免除する。												
二次選考	選考内容は、「一般選考」、「社会人を対象とした選考」、「特別選考」の一次選考合格者と同様とする。													
	個人面接、実技	個人面接、集団面接												
出願時に提出する書類	<p>公立学校教員募集案内・採用選考要項「8 申込書類」に記載の書類を提出すること。</p> <p>なお、「8 申込書類」(4)に記載のとおり、以下の書類を提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの技能や実績のある人を対象とした教員選考調書</li> <li>・実績を証明できる書類の写し</li> </ul>													

※スポーツの技能や実績のある人を対象とした教員選考の対象競技については、「スポーツの技能や実績のある人を対象とした教員選考調書」(別紙)で確認すること。

※競技又は指導実績が選考条件に該当するか等、不明な点は問い合わせをすること。